

平成 20 年 10 月 22 日食品規格部会での各委員コメント

(香山委員)

- 最も寄与率の高い「米」について基準値を設定すべき、また、低減対策も行うべき。
- 「米」以外の生産量や寄与率が低い品目に基準を設定し遵守させることは、検査に要する労力、時間、コストなどを考慮すると、カドミウム暴露の低減にどれだけの効果があるか（大きな効果は期待できない）。
- 一般的に毎日摂食するものではないカキなどの多食者には注意喚起で対応できるのではないか。

(小西委員)

- 95 パーセントイルを評価対象とするかについては議論があるが、コーデックス規格に全て準拠した基準値を決めることによる違反率や廃棄率を考慮すると「米」のみでも十分健康被害を防止できると考える。

(池上委員)

- 「米」に基準値を設定することに賛成。
- 日本独特の食生活を考慮するとカドミウムの汚染を受けやすい「海産二枚貝」や「頭足類」について、何らかの対策が必要。

(宮原委員)

- 優先順位として「米」は重要だが「米」の寄与率は低下傾向。予防の観点からも寄与率の増加傾向にある食品（魚介類）についての配慮が必要。

(山内委員)

- 基本的に重金属の基準値はあった方が良いが、一律に基準を設けることにより、食品が不必要に排除されることは良くない。
- 「米」の他に「大豆」、「小麦」の規格基準についても検討し、基準値を設定しない場合は、その理由を明確に説明できるようにすること。また、食生活の変化に伴い再検討するという留保条件付で決めること。
- 「海産二枚貝」、「頭足類」は、我が国の実態から見て（問題ないと思われるので）コーデックスと同じ基準値を設定してはどうか。

(品川委員)

- コーデックス規格があるのに、我が国で規格基準を設定する品目としない品目の理由の整理が必要。
- 我が国で規格基準を設定しない品目について、その理由をいかに消費者へ説明（リスコミ）するかが非常に重要。

(五十君委員)

- 「海産二枚貝」、「頭足類」については、議論すべき。（コーデックス規格に違反する食品が輸入される懸念がある。）